

# 扶養事実の申立書

被扶養者として認定を受けようとする者						
記号・番号	〇〇〇-〇〇〇	認定対象者氏名	共済 花子		続柄 母	
年齢	63歳	組合員と同居別居の別	同・別 <input checked="" type="radio"/>			
<input type="checkbox"/> 無職 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 求職中</li> <li><input type="checkbox"/> 病気等療養中</li> <li><input type="checkbox"/> 障害のため就労できない</li> </ul> <input type="checkbox"/> 勤務中（勤務先： ） <input type="checkbox"/> 農業・営業等に従事 <input checked="" type="checkbox"/> 年金受給中（種類：遺族年金・国民年金） <input type="checkbox"/> その他	年間所得推計額					
	給与等所得					円
	営業等所得					円
	農業等所得					円
	公的年金等				140万	円
	その他					円
	合計				140万	円
1 扶養されるまでの状況（加入していた保険： <input checked="" type="checkbox"/> 国保 <input type="checkbox"/> 社保 <input type="checkbox"/> 任意継続 <input type="checkbox"/> その他）						
父と国民健康保険に加入していた。						
2 組合員が扶養しなければならない事情（できるだけ詳細に記述のこと）						
令和〇年〇月〇日に父が死亡し、父の死亡後は本人の年金収入のみでは生計が困難であるため、長男である私が母を扶養しております。 なお、弟が2人いますが県外に居住しており、仕送り等の援助は受けていません。						
3 父母等を認定する場合に記入してください。						
①配偶者について（父又は母）		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有の場合 …… 配偶者の収入		円	
			無の場合 …… 恩給・遺族年金の有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
②父母等と別居し、扶養しなければならない場合の生計費の援助方法と援助額						
<input checked="" type="checkbox"/> 送金	<input type="checkbox"/> 手渡し	<input type="checkbox"/> その他	生計費の援助額（ <input type="checkbox"/> 月額 <input checked="" type="checkbox"/> 年額）		80万円	
上記の理由により扶養していることを申し立てます。						
令和 〇年 〇月 〇日						
組合員 氏名 共済 太郎						
上記の記載事項は、事実と相違ないことを証明する。						
令和 〇年 〇月 〇日						
所属所長		職名 〇〇市長				
氏名 〇〇 〇〇						

※ 所得がある場合は、所得金額を確認できる書類を添付してください。

※ については、該当する全ての項目に $\surd$ を付してください。